2026年度中のスタートに向けて絶賛準備中！

「行く地域」から「帰る地域」へ
ふるさと住民登録制度

＼ 制度の概要 ／

ふるさと住民登録制度は、普段暮らしている場所とは別の地域をアプリで登録することで、
地域と地域に愛着を持つ人（＝ふるさと住民）との継続的な関係を育む仕組みです。
あらゆる人にとって「行く」だけでなく「帰れる」地域が増える取組であるとともに、
共に地域を支える人が繋がる、全国共通のプラットフォームとなります。

地域の情報や担い手活動の募集を発信します

受け入れ地域

本制度は新たなつながりの輪を全国へ広げ、温かく楽しい人とまちの関係を日本中に育んでいくことを目指しています。



自分にあった情報をキャッチし、担い手活動に参加することができます

地域に関心がある人（ふるさと住民）

この取組を活かしながら、みんなでまちを盛り上げて行きましょう！

ふるさと住民はどんなことができるの？

気になる地域をスマホアプリで登録。
その地域ならではの情報をキャッチしたり、
実際に地域での活動「担い手活動」に
参加したりすることができます。



＼ ふるさと住民の登録方法は2種類 ／

プレミアム登録は3地域まで

項目	ベーシック登録	プレミアム登録
登録要件	誰でもすぐに登録可能	✔ 年3回以上の担い手活動に参加＋マイナンバーカードを用いた本人確認
できること	✔ 地域の独自情報の閲覧 ✔ 担い手活動への参加 ✔ ベーシック登録証の発行	✔ 地域の独自情報の閲覧 ✔ 担い手活動への参加 ✔ 各種サポート施策の利用 ✔ プレミアム登録証の発行

※年間滞在日数10日以上を基本として、自治体が定める要件を満たした長期滞在者は、その旨をプレミアム登録証に記載することができます。

プレミアム登録者へのサポート施策について

プレミアム登録者の担い手活動への参加や地域での生活を支援するために、地域ごとの創意工夫により官民で様々なサポート施策を用意していきます。

（想定される取組例）コミュニティイベントへの招待、移動・宿泊に関する各種支援、地域の商店での割引 等

公式サイトはこちら

総務省
Ministry of Internal Affairs and Communications

ふるさと住民と地域の つながりが 深まっていく4つのフェーズ

大きく4つの段階で、ふるさと住民と地域の関係が育まれます。

迎え入れる地域

個性を活かして

フェーズ1 つながりのきっかけをつくる

地域独自の情報を発信

地域の魅力や最新情報をスマホアプリを通じて発信。
まずは地域のファンを増やします。

自分のペースで

地域に関心がある人 ＝ふるさと住民



気になるまちをベーシック登録

アプリからすぐに登録可能。
登録すると地域独自の情報を定期的にキャッチすることができます。

フェーズ2 担い手活動に参加する

参加してほしい担い手活動を提供

担い手不足で地域が仲間を求めている活動の案内を登録者に届けます。



地域を訪れ担い手活動に参加

アプリを通じて興味を持った担い手活動に参加。
地域での交流も楽しみながら、自分のペースで関わりを深めます。

フェーズ3 プレミアムな関係へ

継続的な関わりを支える

プレミアム登録者に対して官民で様々なサポート施策を提供し、地域での担い手活動や生活を支援します。



複数回活動参加でプレミアム登録へ

同じ地域の担い手活動に年3回以上参加すると、プレミアム登録にステップアップ。
サポート施策を受けながら、より深く地域との関係を育むことができます。

フェーズ4 つながり続ける

ふるさと住民と共にまちを育む

これから地域の未来を一緒につくっていく仲間として、ふるさと住民との継続的な関係性を築いていきます。

地域へ「行く」から「帰る」へ

定期的に訪れることで関係が深まり、まるでふるさとのような居場所ができます。



共にまちの営みを楽しみ、ずっと残していく仲間へ

ふるさと住民登録制度が生み出す嬉しいこと

ふるさと住民を地域で迎えるみなさんと、訪れる一人ひとりに、嬉しい変化を生み出します。

for ふるさと住民を迎えるみなさん

自治体・地域団体・地域企業等



例えば・・

ふるさと住民と継続的につながり、関わりを深める機会を作ることで、
まちの営みを共に支え、未来へつなぐ仲間が増えていきます。

まちのファンと持続的な関係を築ける

まちに愛着を持つ人とのつながりが可視化されることで、地域の仲間として持続的な関係を築くことができる。

まちの営みを未来へ繋ぐことができる

愛着を持って訪れる人と一緒に地域の活動を担うことで、「日常の風景」を未来へ守り継ぐことができる。

地域に活力が生まれる

地域ならではの営みや文化を一緒に支える新たな仲間が増えることで、地域活動が活発化し、地域の暮らしが豊かになる。

地域独自のシステムを作らなくても、ふるさと住民アプリ（仮称）を使って実現できる

for 地域を訪れるみなさん

ふるさと住民



例えば・・

ただ訪れるだけではなく、仲間として関わり続けることで、いつでも迎えてくれる「心のふるさと」ができます。地域とのつながりを通じ、ウェルビーイングを実感できる、新たなライフスタイルが始まります。

新しい地域の楽しみ方ができる

ガイドブックにはないローカル情報を受け取ったり、地元の人と一緒にお祭りを準備したり、一段深い地域の体験を楽しむことができる。

好きや得意を活かして活躍できる

趣味のDIYで空き家改修を手伝ったり、本業のスキルを活かしたり。
得意なことがまちの力となり、誰かの喜びに繋がります。

地元に恩返しができる

生まれ育った地元の行事やまちづくりなどを支えることで、離れていても地元とのつながりを持ち続けることができる。

アプリと現地の体験を通して自分のペースで「もう一つのふるさと」を育むことができる

公式サイトはこちら

総務省
Ministry of Internal Affairs and Communications